

【タイトル】 栗山と福祉

～レクリエーションとは何か～

【授業概要】

日 時 令和 7 年 6 月 23 日（月） 13：20～15：10

場 所 北海道栗山高等学校

対 象 者 北海道栗山高等学校 3 年生（45 名）

担 当 者 北海道介護福祉学校 非常勤講師

テ ー マ レクリエーションについての基礎を知る

スケジュール 13：20 【講義】
14：40 10 分休憩
15：10 【講義・演習】

【資料一部抜粋】

日本におけるレクリエーションの歴史

昭和11年 娯楽レクリエーション会議が開催された
「日本娯楽協会」が設立された

昭和18年 「日本レクリエーション協会」設立
（日本娯楽協会の発展を引き継ぎ）

レクリエーションとは

①レクリエーションの定義（狭義） 心身ともに楽しむこと

②レクリエーションの定義（広義） 心身ともに楽しむこと

レクリエーションの目的

①レクリエーションの目的（狭義） 心身ともに楽しむこと

②レクリエーションの目的（広義） 心身ともに楽しむこと

③レクリエーションの目的（広義） 心身ともに楽しむこと

④レクリエーションの目的（広義） 心身ともに楽しむこと

⑤レクリエーションの目的（広義） 心身ともに楽しむこと

⑥レクリエーションの目的（広義） 心身ともに楽しむこと

⑦レクリエーションの目的（広義） 心身ともに楽しむこと

⑧レクリエーションの目的（広義） 心身ともに楽しむこと

⑨レクリエーションの目的（広義） 心身ともに楽しむこと

⑩レクリエーションの目的（広義） 心身ともに楽しむこと

講 義 要 要	
研 究 者 の 説 明	本日はお集まりいただきありがとうございます。本日はお集まりいただきありがとうございます。本日はお集まりいただきありがとうございます。
実 験 方 法	参加者の皆さんは、各自の心の中にある「心」を表現してください。心の中にある「心」を表現してください。心の中にある「心」を表現してください。
観 望 中 の 説 明	参加者の皆さんは、各自の心の中にある「心」を表現してください。心の中にある「心」を表現してください。心の中にある「心」を表現してください。

実 験 要 要	
研 究 者 の 説 明	本日はお集まりいただきありがとうございます。本日はお集まりいただきありがとうございます。本日はお集まりいただきありがとうございます。
実 験 方 法	参加者の皆さんは、各自の心の中にある「心」を表現してください。心の中にある「心」を表現してください。心の中にある「心」を表現してください。
観 望 中 の 説 明	参加者の皆さんは、各自の心の中にある「心」を表現してください。心の中にある「心」を表現してください。心の中にある「心」を表現してください。

研 究 要 要	
研 究 者 の 説 明	本日はお集まりいただきありがとうございます。本日はお集まりいただきありがとうございます。本日はお集まりいただきありがとうございます。
実 験 方 法	参加者の皆さんは、各自の心の中にある「心」を表現してください。心の中にある「心」を表現してください。心の中にある「心」を表現してください。
観 望 中 の 説 明	参加者の皆さんは、各自の心の中にある「心」を表現してください。心の中にある「心」を表現してください。心の中にある「心」を表現してください。

～レクリエーション企画～

日	時	令和 7 年 6 月 27 日（金）	13：20～15：10
場	所	北海道栗山高等学校	
対 象	者	北海道栗山高等学校 3 年生（45 名）	
担 当	者	北海道介護福祉学校 非常勤講師	
テ ー マ		レクリエーションを考え、企画できるようになる	
ス ケ ジ ュ ー ル		10：45	【講義・演習】3 年 1 組
		11：35～11：45	10 分休憩
		12：35	お昼休憩
		13：20	【講義・演習】3 年 2 組
		14：10～14：20	10 分休憩
		15：20	終了

プログラム立案シート(記入例)

※対象者は自立している高齢者とする ※活動時間は50分とする

経過時間	レク活動名・ねらい	手 順	留意点・想定する様子
(10)分	(導 入) ※簡条書き ・展開での活動の動機づけ ・アイスブレーキング	・支援内容とその順番を詳しく記入する (例) 曲名	・言葉がけ (例) 緊張を和らげる 励まし・賞賛 ・全体の様子を見て次の活動へ移るタイミングをはかる ・ケガ防止 ・担当者名
(35)分	(展 開) ※簡条書き ・メインのレク活動	・支援内容とその順番を詳しく記入する (例) 隊形は図を描く 回数・時間の記入	・「励まし」「賞賛」の言葉のけを忘れずに ・アドバイスは具体的におこなう ・ケガ防止 ・担当者名
(5)分	(まとめ) ・活動のふりかえり	・支援内容とその順番を詳しく記入する (例) 曲名	・活動の中で印象的だった人、内容の紹介とねざらい ・感謝と挨拶

プログラムの企画書 (指導者)

年 月 日

作成者氏名

事 業 名			
目標(ねらい)			
制 度 者	参加者数		
場所(会場)			
結 団	スタッフ		
留意点等			

経過・時間	レク活動名	手 順	留意点等

【タイトル】 栗山と福祉

～認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座(前半)～

【授業概要】

日	時	令和7年7月17日(木)	14:20～15:10
場	所	北海道栗山高等学校	
対	象	北海道栗山高等学校3年生(45名)	
担	当	北海道介護福祉学校 専任教員	
テ	ー	マ	認知症についての学びを深める機会とする
ス	ケ	ジ	ュ
ー	ル	14:20	講義
		15:10	終了

【資料一部抜粋】

栗山町の出生・死亡数の推移

○直近、5年間と高校3年生出生時年度の比較

	平成19年	令和1年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
出生数	96	92	47	38	43
死亡数	187	183	160	176	188
自然増減	-101	-111	-113	-138	-145
100歳到達	2025	2038	2039	2040	2041

栗山町においても人口構造の変化がみられている

日本の認知症施策(認知症施策推進大綱 2019.6)

○目指す社会
認知症の発症を遅らせて、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる社会

○基本的考え方
認知症の発症を遅らせて、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進する

誰もが尊厳と希望を持って、ともに生きる

認知症の人の発症モデル

認知症の人の発症モデル

2040年に向けて

2040年に向けて

【タイトル】 栗山と福祉

～認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座(後半)～

【授業概要】

日 時 令和7年7月18日(金) 14:20～15:10
 場 所 北海道栗山高等学校
 対 象 者 北海道栗山高等学校3年生(45名)
 担 当 者 北海道介護福祉学校 専任教員
 テーマ 認知症についての学びを深める機会とする
 スケジュール 14:20 講義
 15:10 終了

【資料一部抜粋】

認知症行方不明者数

2024年・暫定推定値

2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023

単位: 人

1. 認知症の主な症状

中核症状 (脳の特定の部位の機能低下により現れる症状)

中核症状	特徴	例
記憶障害	さっきのことを忘れる／新しいことを覚えられない	何度も同じ話を繰り返す
見当識障害	日付、季節、人、場所が分からない	「今日は何日？」が答えられない
判断力の低下	状況を理解や整理し、適切に判断ができない	右衛門が引えない、道に迷う
実行機能障害	正しい物や料理の手順が分からない	調理が途中で止まる

自分にもできる言葉かけ・対応

- ▶ まずは声をかけて**安心感を与える** (大声で声を掛けない)
 - ・「何かお手伝いしましょうか？」
 - ・「一緒にお店の人の話を聞いてみましょうか？」
 - ・「一緒に探しましょうか？」などと**共に考える姿勢を示す**
- ▶ 周囲の大人(スーパーの店員や交番)に**さりげなく協力を依頼する**。
- ▶ それ、さっきも入れましたよ」と正すのではなく、**否定せず、焦らせない対応**

まとめ 認知症の人を地域で支えるサポーターとして

☆「皆さんが明日からできること」

- 気づく 「通っているサイン」を見逃さない
- 声をかける 「何かお困りですか？」と優しく声をかける
- つなぐ 店員・交番・大人に助けを求め
- 関わる 無理に誘導せず、そばで安心感を与える
- 開く 地域のイベントやボランティア、認知症カフェに参加 (認知症の理解を深める)